

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29 年 10 月 10 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100348		
法人名	株式会社 ニックス		
事業所名	グループホーム花咲楼		
所在地	広島県広島市東区尾長東2-6-34 電話 (082)568-7007		
自己評価作成日	平成29年9月13日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100348-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年10月4日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

スタッフ全員が認知症の理解を深め、出来る限り薬に頼ることなく、自由な生活環境と家庭的な雰囲気の中で心穏やかに落ち着いた毎日を過ごして頂く。
必要最低限の介護で自立を保ち、尊厳を守る。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

1日のスケジュールは設けず、運営理念にも有るように”一人ひとりの生活スタイルを尊重したサービス”を目指した支援を心掛けている。今年から交代した管理者は、看護師としての経験が豊富で2ユニットを管理し、常に利用者に寄り添った介護及び看護に努めている。また今迄の経験を活かし、職員に対しても日頃からしっかり業務のバックアップを行い、利用者の体調管理も細かく把握し、有事の時は24時間体制で支援する心強い存在である。社会貢献の一環として、毎年2校の中学校から職場体験を受け入れ、介護の大切さを実践を通して体験して貰い、将来役立つよう共に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「相手本位」という事業所理念に基づき、相手を否定することなく安心して日々生活して頂けるように努めています。	法人の運営理念「相手本位の心」は5項目の方針に基づいて掲げられており、更に各ユニットは半年毎に介護理念”心”に寄り添う・QOLの向上・安心できる場所”を見直し実践に即した支援を行っている。	管理者と職員は、理念の意味合いを同じ目線で共有出来るよう、研修等を通して実践につなげ更なるサービスの向上に期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	夏祭り等の行事を開催し、地域住民の方に声をかけ参加して頂き、地域との交流を深めています。また、保育園の行事に参加したり来訪して頂き、園児とのふれあいにも努めています。	事業所は町内会に加入し、地域住民から声掛けをしてもらい地域イベントに出掛けている。ある時は町内会の了解を得て、隣の町の晩踊りの見学に出掛ける等している。また近隣の保育園の園児が訪れ、利用者はいつもと違う喜びを感じ、職員は地域交流の支援に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	近隣に住まわれている方へ、施設や認知症についてご理解をいただけるように挨拶などを行い、日々挨拶などを行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議の席にて現状をお伝えし、指摘やご意見を頂き施設全体に伝達を行い、より質の高いサービスが提供出来るように努めています。	会議は隣に位置している、同法人の事業所と共に開催されている。出席者は利用者と家族が中心で、関係者が報告、改善課題等の意見を話し合い、アドバイスをもらいながら、共にサービスの向上に活かす取り組みがされている。	会議は定期的に行われているが、家族の出席が遠方や仕事等の都合で、参加が期待出来ない場合が多い。今後は参加出来ない家族の意見を聴き、開催日の曜日変更や会議録を送付する等して、幅広い意見を求める取り組みに期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	月に1度の町内会への参加を行い、現状について報告などを行っています。その上で、ご理解して頂きより良い関係を気づけるように取り組んでいます。	市町の担当者とは、運営推進会議の議事録の提出のみに終わっているが、中学校の介護育成授業の受け入れを行い、協力関係を築くよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	転落などの事故防止のため、玄関などに電子ロックを行っていますが、他の拘束については行っておりません。	季節により玄関の施錠を開閉している。2ユニット共同の防犯カメラ用モニターで、協力しながら見守りに重点を置き日々のケアに取り組んでいる。法人内研修は月に1度、事業所の内部研修も年3～4回行われ身体拘束しない支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている。	月に1度の施設内でのミーティング等において、職員全体で虐待への理解を深め、1人1人に合ったサービスを心がけております。ご本人様のらしさを守っていけるようにしております。拘束や虐待の疑いがある時は、速やかに上司・家族様・ご本人様と連携し対応しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	社内で行われる研修への参加を積極的に行い知識を得て、事業所内で報告を行い、全体で理解できるように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、不安点や疑問をお尋ねしております。納得のいくまで細かく説明を行い理解をして頂けるように努めています。契約後でも不安点等があれば、速やかに説明を行いご理解して頂けるようにしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	事業所内に意見箱の設置を行い、利用者様や家族様の要望を気軽に述べて頂ける環境を築いています。定期的に回収し運営に反映させております。	事業所の玄関先に意見箱を置いており、年数件家族等からの意見が寄せられている。職員は来所時や電話、投函頂いた意見や要望を基に、話し合いを設けそれらを運営に反映出来るよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日々の業務の中で意見や提案が出来る環境を心がけております。また、個別に面接などを行い提案できる場所を設けております。</p>	<p>職員は、利用者目線で運営に関する意見等を話し合い、例えば居室のベットの配置を、様々な角度から検討し実用的な配置を心掛け、出入口がスムーズに出来る様にしたり、夜間等見守りが行い易いよう工夫し、職員の意見が反映出来る取り組みがある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員1人1人に合った勤務形態を提供し、働きやすい環境作りを築けるように心がけてはおりますが、人員不足などのため困難なときが多くあります。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>社内研修への参加や、事業所内で行っているミーティングへの参加を促しております。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同業者の方へ毎年挨拶状をお出ししたり、挨拶なども行っています。ただし、情報交換の場を設けられていないのが現状です。</p>		
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前よりご本人様や家族様・病院や施設に連携を取っております。入所にあたり不安が多くありますので、出来る限りの理解をし、受け入れることで信頼を築けるように努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居に対しての不安な点をお聞きしております。入居されてからは電話やお手紙などでこまめにご連絡をし、ご家族様との信頼関係を築けるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ケアマネージャーと連携を計り、今どんなケアサービスが必要なのかを検討し、ご本人様や家族様の負担を軽減できるように努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人様が出来ることは行って頂いております。事業所内でも日々の中で他の利用者様との交流も図れる為レクリエーションを行っており、その上で職員との交流の機会を設けております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時にご家族様とご本人様を交えお話しをさせて頂いております。日々の状況をお伝えし良好な関係が築いていけるように努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	予めご家族さまに、ご本人様の友人の方などが来られる際の対応についてお聞きしております。出来る限りのご理解をして頂き関係を続けていけるように支援しております。	日頃は事業所近くを職員と共に散歩し、時にはその途中にある喫茶店でコーヒーを飲んだりしている。また本人の希望で家族と野球観戦に出掛け楽しんでいる。外出が困難な利用者の一人は、息子が営んでいる店のうどんを持参してもらい、懐かしい味を堪能している。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	居室にこもりがちな方もいらっしゃいますが、フロアへ声掛けを行い職員が間に立ってコミュニケーションをとっていたできるようにしております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	転所されて方がいらっしゃいますが、現在入所されている施設の方にご連絡をし、ご家族の承諾を得て面会に行っております。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様や家族様と職員全体が意見交換が出来る場所を作っております。出来る限りの希望や意向にも応えていけるように努めております。	ケアマネージャーが本人や家族から希望等を聞き取り、ケアカンファレンスで職員は、情報を共有し意向の把握に努めている。例えば、夜間の帰宅願望が強い場合、暗い玄関先に出て明日帰る事を納得してもらう為の、代替案を見つけ本人本位の支援が出来る様取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	新たに入居される際に今までに愛用していたものなどを持参して頂いております。少しずつでも新しい環境に慣れていただけるように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員が日々の観察などを行い、報告を全体で行っております。職員だけでは難しいことなどについては管理者・ケアマネージャー・看護師などの意見などを伝え、対応しております。		

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	月に1度、事業所内にて全体でミーティングを行っております。意見を出し合い、1人1人に合ったサービスを計画し作成しております。	計画書はケアマネージャーと担当者が、3ヶ月に1度モニタリングを行い、会議を通じて評価し計画を立てている。例えば計画が上手くいかない場合は、家族や職員がアイデアを出し合って、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別の記録はiPadに記録し申し送りや連絡ノートにて情報の共有に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	2週間に1度の内科医と歯科医師による往診を行い健康管理にも努めております。マッサージ等が必要なときは外部へ依頼しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近隣の保育園との連携や出張による散髪を行っております。散歩などの時には、近隣のスーパーなどへ買い物なども行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	主治医より受診が必要となったときは速やかに家族様との連携を計ります。遠方などの理由から困難なときはスタッフが対応し通院などの介助を行っております。	かかりつけ医（協力医）は認知症の専門医で、2週間に1度来診に訪れている。歯科に於いても同じで、口腔ケアを含め利用者の殆どが受診している。また管理者は看護師として、24時間体制で職員と共に支援できる体制がある。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎朝バイタルチェックを行っております。必要に応じ看護師に報告し緊急の場合は管理者へ報告。係りつけ医や看護師と連携し対応しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院への連絡・家族様への連絡を行い、現状の把握に努めております。承諾が得られるときは入院先へ訪問させて頂き現状をお聞きします。協力体制を整えることに努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時にご家族様への確認は行いますが、状況が変化した際にはその時々で意向をお伺いしております。主治医との連携も密に行い、家族様の意向を確認しながら出来る限りの対応を行っております。	事業者は看取りの事例が12-13例有り、重度化した利用者に対して積極的に支援を行い、訪問看護と協力して関係者が協力し取り組んでいる。職員はマニュアルを基に、日々のケアから実践につなげ取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	看護師より急変時や自己発生時の対応について学び、初期の対応を職員全員が行えるよう努めております。発生時には、看護師より管理者へ報告することなど、初期の対応について何度も伝えております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	町内会への参加を行っているため緊急時の避難場所については理解出来ておりますが、安全に避難出来るように職員全体が周知できてはおりません。定期的に消防訓練は行っております。	ハザードマップで緊急避難場所は、確認している。事業所内でも避難方法や場所を決め、年2回の消防訓練も利用者と共にしている。備蓄は隣の事業所と協力し備えている。	事業所内での災害対策は、行っているが地域との連携が不足している。今後は事業所と地域住民が協力しながら、更なる防災の取り組みに期待したい。

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	居室に入らせて頂く際は、必ずお声をお掛けいたします。介助などを居室で行う際にはドアを閉めて行います。自立にて排泄が可能な方の場合には席を外しております。	利用者の人格を把握するために、その人の昔（生活歴）を知る事が大切で、家族から話を聞いたりしながら言葉がけも含め、日々の支援に努めている。職員は接遇研修の中で、プライバシーについての対応や知識を再確認しサービスに取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	サービスや介助を行う際には必ずお声をお掛けいたします。その際にご希望や意向を聞き、ご本人様の意思確認します。その上で、支援できるように努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	スケジュールはありますが、その時その時で1人1人にあった無理の無い支援を心がけております。ご本人様に伺いながらサービスの提供が出来るように努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日に着る服を選んでいただいたり、月に1度の理容も要望をお聞きしております。男性の方は髭剃りなどを実施しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	行事食の提供や、定期的に食レクを行っております。食事の準備や片付けもご本人様に無理なく行っていただいております。	朝食を除いて毎日の食事は、法人が運営している配食を利用している。誕生日には利用者の希望でウナギを皆で食べ、外食でハンバーガー店に出掛けたりもする。食レクでホットケーキやお菓子袋等で楽しんでいる。食事環境にも於いてもイスの高さ等、気配りしながら楽しい食事が出来るよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	看護師に確認し、1人1人に合った適切な水分量などを確認しております。少ない時は声掛けなどを行い適量に近づけられるように努めています。困難なときは、水分を含む主食の提供や果物などをお出ししております。	/	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後に声掛けを行い歯磨きなどを行います。歯科医師や歯科衛生士の指導のもと対応しております。歯磨きを嫌う方もおられますが、強要せず見守り嗽などを行っています。	/	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	日々の観察からご本人様の排泄状況を確認しております。介助が必要な方にも出来る限りトイレへ誘導し排泄を行っています。	トイレは各ユニットに3か所ある。トイレ内は広くファンレストテーブルも設置し、何より良い香りが漂い匂いに気配りしている。夜間にPトイレを使用する利用者にも、使用後はその都度洗い流し匂わず清潔にし、排泄環境を整える事で利用者の自立につなげている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便コントロールが可能になるように、水分や食事量・食事形態を検討し提供しております。腹部マッサージを行いますが、腹圧がかからない方は看護師より主治医に報告。服薬などによるコントロールを行いますが、コントロールがつき次第服薬を中止し自然排便を促しております。	/	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	午前中から午後に掛けて入浴を行っています。その際は、ご本人様のペースにあわせ気持ちよく入浴して頂けるように努めています。原則1週間に2回以上の入浴を行えるようにしております。	入浴を楽しんで貰うために、シャンプーの香りを時々変え、夏場のシャワーでは清涼感のあるミント入りのボディソープを用意し、楽しい入浴を支援している。入浴拒否の利用者には、生活パターンを把握しタイミングを図りながら、個々に応じた支援を心掛けている。	

自己 評価	外部 評価	項 目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	消灯時間は21時ですが、利用者 様に添った時間にて調整してお ります。寂しいや暗いところが 苦手な方もいらっしゃいますが 入眠前にお声をお掛けし、安 心して就寝で切るように努めて おります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めて いる。	職員全員が把握できるように薬 情はホールに設置しております。 ご本人様にも目的についての理 解を促します。服薬後の症状の 変化については、職員より管理 者・看護師へ報告を行って おります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている。	職員と一緒に洗濯物を干したり たたんだり、洗浄後の食器を拭 いて頂くなどその人に合った 役割があります。歌レクなどの 声掛けなど、やりがいを見つ けただけのように支援して おります。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援して いる。	ご家族様と外食を楽しまれたり 、施設では春には桜の花見や 秋は菊花展などの外出支援を 行っております。昨年はマツダ スタジアムへ男性の利用者様 のみですが職員とともに外出 しました。ご家族様の参加も あり、とても喜んで頂きました 。今年も計画をしております。	日常的には近くで散歩し、町 内の行事（和太鼓の演奏）にも 出掛けるなどしている。時には タクシーでショッピングセン ターへ買い物に出掛け、利用 者の希望で美術館に数人で 出掛け絵を鑑賞し、広島城 にも行き甘酒を飲んだりして 、外出する喜びにつなげる支 援がされている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。	現在、ご本人様で金銭を所持 されている方はいらっしゃいま せん。ご家族様より小口現金 と言う形でお預かりし、外出 時などはご本人様に手渡し買 い物などをして頂いています。		

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族様などへの話や手紙のやり取りを現在は行えておりませんが、今年の年賀状につきましてはレクリエーションも兼ねて作成していただけるように検討しております。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>毎朝の掃き・拭き掃除を行い、利用者様の様子を見ながらエアコンや光の調節を行っております。</p>	<p>毎朝清掃後に利用者は、ニックス体操（事業所独自）を行うのを日課にしている。車椅子の利用者は座りっぱなしにならないよう手足を動かす運動を行う等、個々にお気入りの場所で過ごしている。時にはボランティアの手作り寸劇やフラダンスを鑑賞し、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブルやソファを使用し、他の利用者様との交流を計っています。時に、職員を交えて会話し、コミュニケーションを高めております。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>家具などの配置はご家族様・ご本人様の意向を出来る限り聞いております。やむを得ず配置換えを行うときは必ず承諾を得て行います。</p>	<p>入居時に使い慣れたものを持参している。男性利用者の居室には、大好きなプロ野球球団のポスター等が壁に飾られ、畳を敷いて寝転がりながら鑑賞したり、また音楽を居室で聴いたりする利用者もいる。寝具は職員が布団乾燥機を使い、心地よく過ごせるよう支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレや浴室の表示を行っております。個人情報のため居室の前に表札は出せませんが、ご本人様でもご自身の居室が分かるように折り紙でおった花などの目印を使用しております。</p>		

V アウトカム項目() ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は、活き活きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム花咲楼

作成日 平成29年11月2日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所・職員で共有できるようにする。	事業所において全体でミーティングを定期的に設け、理念への理解を高めていく。	6ヶ月
2	2	○事業所と地域との付き合い 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している。	行事への参加を可能な限り行い施設内で行う行事への参加を呼びかけていく。	使用者のプライバシーの保護に留意しながら出来るだけの開示を地域へ行っていく。	6ヶ月
3	4	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、使用者のサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	事業所に目を向けて頂き、知って頂けるように働きかける。	運営推進会議の議事録の送付や出前講座の依頼を行い関係を密にしていき、指導を仰ぎサービスの向上に努めていく。	6ヶ月
4	6	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	拘束の三要性について理解すると共に拘束をしないケアへの実践をおこなう。	事業所内で行われる研修や外部の研修への参加を強化し、情報を事業者全体で共有しながら拘束への理解を深めていく。	6ヶ月
5	35	○災害対策 火災・地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難出来る方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	事業所内のミーティングにおいて再度職員全員に周知し、災害時の対応について日頃より意識付けを行う。	避難経路や避難場所、災害時の対応についてマニュアル化し、職員全員が把握できるように努める。	6ヶ月
6	36	○一人ひとりの人格の尊重をプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	事業所全体で理解し実行する。	場所にこだわらず研修への参加を求め、その情報を共有しながら人格の尊重・プライバシーの確保に努める。	6ヶ月
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。